社会福祉法人　白寿会　　総合広報　2024 年度

風のまち　だより　冬号

社会福祉法人　白寿会

電話　　０５３８－６６－５２３１

FAX　　０５３８－６６－５５１７

HP　　http://www.hakuju.jp

下の QR コードからもご確認いただけます。

- 特別養護老人ホーム　白寿園　　定員 70 名
- 特別養護老人ホーム　第二白寿園　　定員 80 名
- 白寿園 ケアハウス　　定員 15 名
- 白寿園 居宅介護支援事業所
- 白寿園 第二居宅介護支援事業所
- 磐田市竜洋地域包括支援センター
- 白寿園 ショートステイ　　定員 20 名
- 白寿園 デイサービス　Ｂ型　　定員 40 名
- 白寿園 ホームヘルプサービス
- 白寿園 研修センター
- なないろ保育園　　定員 12 名
- デイサービスせんず堂　　定員 20 名

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。旧年中は当法人の運営に格別のご支援をいただき感謝申し上げます。本年も社会福祉の精神のもと、地域の皆様のご期待に沿えるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長　鈴木新一
役職員一同

【11.13　総合防災訓練】

南海トラフ地震発生に伴う火災、津波の発生を想定した総合防災訓練を実施しました。職員間で連携しながらご利用者を 3 階まで避難させました。反省会では「声掛けが聞こえず指示が分かりにくかった」といった声があり、対応策を話し合いました。これからも南海トラフ地震発災に備え、訓練を重ねていきます。

【10.25　民生委員 2 回目の見学会】

民生委員見学会の 2 回目が開催されました。白寿園、ケアハウス、第二白寿園と見ていただいたのち、施設長から介護保険の概要を説明させていただきました。民生委員の皆様は職員からの説明を興味深く聞かれており、鋭いご質問もいただきました。今回の経験が皆様の活動の一助になればと願っております。

2024 年冬号でお伝えする主な内容

No.1	昇格者インタビュー	P3
No.2	感染症対策	P3
No.3	ケアハウス開園記念式&レポート	P4
No.4	家族会奉仕活動	P5
No.5	日赤奉仕団ボランティア	P5
No.6	下半期苦情解決委員会	P6
No.7	第二白寿園クリスマスレポート	P6
No.8	デイサービスクリスマスレポート	P7
No.9	保育園クリスマスレポート	P8
No.10	編集後記	P8

【国体で優勝しました！】
10 月に開催された全国障がい者スポーツ大会 SAGA2024 に白寿会職員が出場し、見事優勝を収めました！

〔1〕　昇格者インタビュー

今年度 10 月から新たにサブリーダーに昇格した職員にインタビューを行いました。高校卒業後の令和 3 年 4 月に白寿園に入職、在職 4 年目での昇格となった彼に今の思いを聞いてみました！

職員名…松下寛紀さん
年齢…21 歳
部署…特別養護老人ホーム白寿園・福来ユニット

Q1.介護職を選んだ理由は？
　高校卒業を控え、今後の進路を考える中で、曾祖母を介護する祖父母の姿を見ていたことをきっかけに介護職の道を選び、在学中に初任者研修を取得しました。
Q2.サブリーダーになっての心得は？
　ご利用者やご家族だけではなく、今後はサブリーダーとして職員からも見られていると思って介護をすることです。
Q3.最近のストレス解消法は？
　友達と遊んだり、おいしいご飯を食べたりすること。ドライブも好き！！
Q4.白寿園で働いていて学んだ事は？
　介護に関するリアルな知識が増えたことです。祖父母が介護をするところは見ていましたが、この仕事に就かなかったら介護について全く知らなかったし、考えることもなかったと思います。実際にご利用者を介助することは非常にいい勉強になります。今年、国家資格の介護福祉士を取れたので、次はどの資格を取得するか検討中です。

ご協力ありがとうございました！

〔2〕　感染症対策

今年も寒い冬がやってきました。皆様どうお過ごしでしょうか？インフルエンザやコロナウイルスの流行の終わりが見えないご時世ですが、どのような感染症対策をしていますか？白寿園ではうがい、手洗いはもちろんのこと、2 時間に 1 回の換気を徹底しています。
　右の図は厚生労働省から示されている感染症対策の一例です。皆様も正しい感染症対策を行って病気知らずの一年にしていきましょう！

〔3〕　ケアハウス開園記念式＆レポート

「ひまわりの郷様からのお赤飯」

厳しい残暑も和らぎ、やっと秋らしくなり始めた 11 月 10 日（日）にケアハウス開園記念式が行われました。今年も前年同様“ひまわりの郷”様からお赤飯をご提供いただきました。理事長と園長に開園記念の祝辞をいただき、式典後に美味しい食事とお赤飯を食され、利用者の皆さんは大変喜んでいらっしゃいました。

いただいたお赤飯をパクリ！

今年度は保育園の園児達とたびたび交流しました。運動会は雨で室内開催に変更になったために見学できなかったので、日を改めてケアハウスまでダンスをお披露目に来てくれました。予定していたクリスマスの来訪も風邪引きさんが多くなってしまったという事で、保育士さんが園児手作りのクリスマスツリーのミニチュアを届けに来てくれました。ケアハウスの皆さんはとても喜ばれ、一人のご利用者が代表して園庭で遊んでいた園児たちにお礼を届けました。

園児たちにお礼を届けました。

ケアハウスでは、利用者の皆さんに 12 月 22 日にゆず湯に入浴していただきました。感染症に負けないよう、皆さんポカポカに暖まって年末年始を乗り切ってもらう願いを込めました。

〔4〕　家族会奉仕活動

毎年、6 月と 12 月の年 2 回、家族会奉仕活動として特別養護老人ホームに入所されているご利用者のご家族が来園してくださいます。12 月 15 日、73 世帯のご家族が来園され、施設のガラス拭きやクモの巣払い等をしていただきました。皆様のおかげで綺麗な印象を持っていただける外観を取り戻せました。寒い中、ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

〔5〕　日赤奉仕団ボランティア

毎月第 3 木曜日には、日赤奉仕団の皆様がボランティア活動で来園されます。暑い時も寒い時も毎月欠かさずに活動をしてくれています。今回は中庭の花壇の草取りや花の植え込みをしてくださいました。雑草でいっぱいだった花壇も見違えるほど綺麗になりました。二階から中庭を眺めながら色とりどりの花が咲くのをご利用者が楽しみに待ちかまえています。いつも本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

〔6〕　下半期苦情解決委員会

令和 6 年 12 月 5 日、社会福祉法第 82 条に基づく白寿園苦情解決委員会が開催されました。令和 6 年 6 月から 11 月の期間で、当法人が受けた苦情の報告となります。今回は在宅部門で 3 件の苦情がありました。外部委員の先生方からは、言葉一つで傷つくこと、傷つけてしまうことがあるため言葉選びに注意をすること、お互いに歩み寄り、解決に繋げていけるよう関わっていくことが大切だとの助言を頂きました。また、半年で 3 件という苦情の件数について、職員が日頃から尽力していることが伺えるとねぎらいのお言葉を頂き、合わせて、今後は職員自身の精神衛生にも注意するようにとのご指導も頂きました。

今回の事例から学び、より良い支援になるよう、今後も職員一丸となり、サービスの向上へ一層の努力をしていく所存です。

〔7〕　第二白寿園クリスマスレポート

第二白寿園ではご利用者、ご家族に楽しんでいただこうと、クリスマスイルミネーションの飾り付けを行いました。ご利用者や面会で来られたご家族からはぱっと華やぐイルミネーションを見て「きれいだねぇ。」とお声を頂きました。また、ご利用者のお誕生日会を兼ねたクリスマス会を 12 月 23 日（月）にささやかながら開催しました。職員手作りのチーズケーキを皆さんにふるまったところ、お誕生日のご利用者は待っていましたと言わんばかりにケーキをお召し上がりになり、とても喜ばれたご様子でした。寒さ厳しい季節ですが、ほっと温まる時間を過ごすことが出来ました。

職員手作りのチーズケーキ！
とてもおいしそうです。

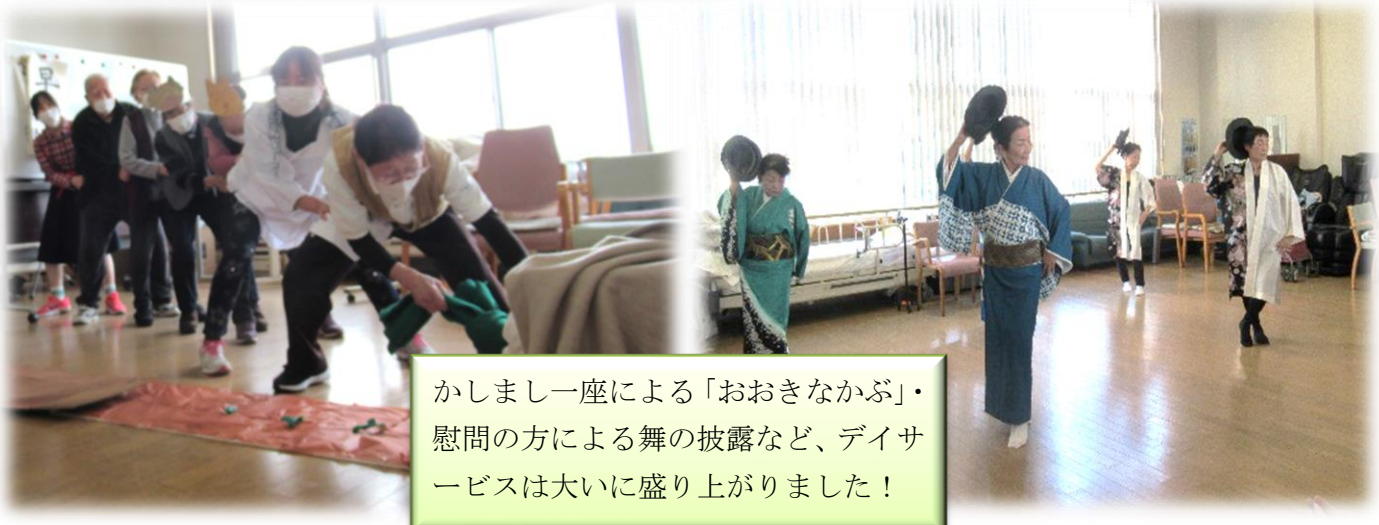
〔8〕　デイサービスクリスマスレポート

12 月 19 日（木）から 25 日（水）に白寿園デイサービスではクリスマス会を行いました。この 1 週間は昼食が普段よりもちょっぴり（かなり？）豪華になります。基本はちらし寿司に汁物、茶碗蒸し、和え物！豪華でしょう。さらにサプライズとして、敬老会に引き続き、クリスマス会もライブ提供がありました！19 日（木）には握り寿司、25 日（水）には天ぷら実演です。その場で作った物をすぐに頂ける、最高の贅沢ですね。

午後にはその日によって内容が変わりました。職員の「かしまし一座」による寸劇「おおきなかぶ」の日あり、慰問の方の披露あり、ミニレクリエーションあり、と趣向を凝らして楽しんで頂きました。

令和 7 年も行事を企画し、ご利用者の皆様と楽しんでいきたいと思っています。

目の前で作ってすぐに食べられるライブキッチンで、ご利用者の気分も高まります！



かしまし一座による「おおきなかぶ」・慰問の方による舞の披露など、デイサービスは大いに盛り上がりました！

〔9〕　保育園クリスマスレポート

12 月 25 日（水）にクリスマス会を行いました。子どもたちの元気な歌声や鈴の音を聞いたサンタクロースが、なないろ保育園のかわいい子どもたちに会いにやって来ました。プレゼントをもらうと、サンタクロースに「ありがとう。」と、お礼を言い「また来てね。」と、約束をしました。きっと来年も、かわいい子どもたちのもとにサンタクロースが来てくれるでしょう・・・。

〔１０〕　編集後記

遠州の空っ風が厳しく吹き付け、天気予報の気温よりも体感的に寒く感じます。非常に乾燥した空気に肌もヒリヒリと痛いほどです。帰ったらまず暖房器具を付けながら加湿器に手を伸ばす、そんな毎日です。

世間でも問題となっている 2025 年問題について、本年は団塊世代が全員 75 歳以上の後期高齢者になることを踏まえ、必要とされる医療介護人材が 30 万人以上不足すると言われています。加えて、以前から問題視されている介護職の離職率の高さもあり、人材確保はますます厳しくなると予想されています。白寿会でも職員確保には頭を悩ませており、対応策として特定技能実習生の採用を、昨年度から近隣施設に先駆けて行っています。この先、日本人だけでは十分な人員配置が望めない施設も出てくると考えられ、介護施設における外国人人材の活用は施設運営において検討すべき課題の一つになりつつあります。

また近年、人材不足の解消として、介護職員の生産性向上を目的とした ICT 導入が推進されており、今年度の介護保険法改正でも関連した加算が新設されたほか、静岡県でも介護施設の ICT 導入に関する補助金が予算に組み込まれるなどしています。ベッドに寝ているご利用者のバイタルが自動で測れるベッドセンサーや、排泄のタイミングを教えてくれる機器など新しい技術も生み出されており、他産業に比べて、まだまだ人の手で行うことが多く、業務内容の改善が進んでいない介護業界に大きな変化が訪れています。

人材不足という厳しい問題に直面する介護業界の中で、白寿会は 2025 年も介護サービスの質の向上を目指して尽力して参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。